

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 5年 2月24日

事業所名 就労準備型療育シエロ

保護者等数（児童数）

12 回収数

10 割合 85%

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1	1		・少し狭いと思う	・活動に応じて、狭さを感じにくいよう、工夫します。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	7			3	・開示が無い為、不明	・当日の配置職員を貼りだすなど、対応を考えます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	2				・スケジュールボード等を用いて、視覚的に過ごしやすいように工夫します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	1				・清潔感を保持できるように、整理整頓に努めます。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	9	1			・個別支援計画の内容に「母親の不安の解消」とあるが、なぜ母親だけに限られているか疑問	・説明不足だったと思います。本児の支援についても具体的にお話します。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10					・保護者様、児童様一人ひとりにとって、よりよい具体的な支援を一緒に考えます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10					
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	10					
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	1		2		
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	1				
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	9	1				
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	7	2		1	・受けたことがない	・希望者には面談等行っています。活動の周知できるよう、毎月お知らせしていきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	8	2			・日頃は連絡帳のみのやり取りであるため、発達課題の状況・課題が追いついていない	・面談回数を増加し、課題共有に努めます
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	3		1	・面談はあるが、助言はない	・助言ができるよう、定期的なアセスメントを行います
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	2	3	1	・開催されているかわからない	行事にて交流会を開催したこともありましたが、コロナの影響もあり今後の開催は検討中です

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	2	1	・担当制が不明で、対応も統一しているか分からない	・相談先を画面で配布するなど、周知を行います。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	1			
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10				
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	6	1	3		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1	4		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	10				
	23	事業所の支援に満足しているか	8	2		・連絡帳やInstagramでしか様子がわからない ・色々な場所に連れていってくれるので、初めての場所への不安が小さくなった ・色々な活動をして、作った物を嬉しそうに見せてくれるので1日が楽しいのが伝わる	・参観機会を設けるなど、広報活動も行います。 ・引き続き「体験」を重視した療育に力を入れ、将来に向けた意欲や技術の獲得のお手伝いが出来ればと思います。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2

児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する

*3

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、
認知・体言・長期目標の達成には一歩ずつ取り組むことが大切であることが明らかになっている

保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。